

事務 事業名	コード1	41500	海上ふれあい館管理費	課	生涯学習課					
	コード2			所属班	海上公民館					
政策 体系				☐ 主要事業	電話番号	55-2566	内線			
	基本方針	4	心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり		予算科目	会計		款	項	目
	施策	5	生涯学習の充実		根拠法令	一般会計		10	4	8
	施策の展開	2	生涯学習関連施設の充実及びネットワーク化		海上ふれあい館の設置及び管理に関する条例					
	基本事業	237	各施設の整備充実							

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	JR飯岡駅舎との複合施設。 ふれあいサロン(22.39㎡)、ふれあいギャラリー(38.20㎡)、飯岡駅トイレが設けられており、各施設の維持管理を行う。 ふれあいサロンおよび飯岡駅トイレは、飯岡駅利用者の待合室や地域住民の憩いの場となっている。 ふれあいギャラリーは、文化活動の支援として学習活動(作品等)の発表の場となっている。 【業務の流れ】 【3月】 海上ふれあい館管理業務、清掃委託業務を準備行為で行う。 【随時】 海上ふれあい館の使用について受付(2週間毎のふれあいギャラリーの貸出) 【随時】 破損箇所の修繕

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(24年度の実績)		単位:千円
1. 委託料	0	施設管理委託料
2. (施設維持管理委託料)	720	海上ふれあい館受付、管理業務
3. (清掃等委託料)	765	海上ふれあい館、ふれあいサロン、飯岡駅トイレ清掃業務
4. 需用費	854	消耗品、光熱水費
5. その他	228	修繕料、通信運搬費、手数料ほか
② 延べ業務時間の内訳(24年度の実績)		単位:時間
契約事務:10時間		
点検業務:50時間		
破損修繕:20時間		

事業費 費目内訳	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
1. 委託料	千円				
2. (施設維持管理委託料)	千円	720	720	720	720
3. (清掃等委託料)	千円	797	797	765	753
4. 需用費	千円	786	783	854	957
5. その他	千円	73	212	228	227
事業費計(A)	千円	2,376	2,512	2,567	2,657
うち一般財源	千円	2,376	2,512	2,567	2,656
正規職員従事人数	人	0.04	0.04	0.04	0.04
延べ業務時間	時間	80	80	80	80
人件費計(B)	千円	304	304	304	304
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,680	2,816	2,871	2,961

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ①ふれあいギャラリーにて文化活動の作品等の展示。 ②地域住民の憩いの場または飯岡駅利用者待合室としての場の提供 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 同上	ア ①ふれあいギャラリー開館日数	日	295	295	295	295
		イ ②ふれあいサロン、飯岡駅トイレ開館日数	日	365	365	365	365
		ウ					
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	①市民 ②飯岡駅利用者	ア ①人口	人	70,138	69,749	69,223	68,723
		イ ②飯岡駅利用者	人/日	785	754	751	750
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	①文化活動の支援として、学習活動(作品等)を発表する場の提供。 ②ふれあいサロン、飯岡駅トイレを常に安全かつ快適に利用できる状態に保つ。	ア ①ふれあいギャラリー来訪者数 ()	人	5,606	5,683	5,327	5,800
		イ ②サロン・トイレに関する苦情件数 ()	件	0	0	0	0
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けられるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	①学習活動の作品を展示することで、同じ趣味を持つ人や興味を持つ人の輪が広がり、さらなる学習意欲向上が期待できる。	ア ふれあいギャラリーにて文化活動等の作品を展示している団体等 ()	団体	16	21	20	24
		イ ()					

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民の文化活動の支援及び地域住民の融和を図るため、平成9年9月から飯岡駅改修に伴い開館。	海上地区内のサークルだけでなく、他地区からの貸出申請が提出されるようになった。	展示品の販売をさせてほしい。 来場者用駐車場が無い。(飯岡駅駐車場が無い)駐輪場を整備してほしい。(違反駐輪が多い)

事務事業名	海上ふれあい館管理費	課名	生涯学習課	班名	海上公民館
-------	------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 生涯学習発表の場を提供することで、生涯学習の充実につながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 人が多く集まる公共の場(飯岡駅)で、市民がだれでも気軽に作品を展示できる場所を提供することは目的妥当である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市の施設の為
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ふれあい館の目的である「市民の文化活動の支援及び地域住民の融和を図る」ことについて目的に合った役割を果たしており、苦情もない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 ふれあいギャラリーの貸出期間は2週間単位だが、申請が多い場合は1週間単位や1日単位での貸出方法も検討する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 銀座通りにギャラリーがあるが、地理的に統合は不可能。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 飯岡駅トイレは毎日(365日/年)清掃の業務内容だが、2日に1回(183日程度)に見直し検討余地あり
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 管理は委託しており、それ以外の業務時間は少なく、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民全員が利用できる状態にあるので公平である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 身近な市民ギャラリーとして活用され、又、駅の待合室(トイレ)・無人駅の防犯機能も兼ねた多機能施設としての役割を果たしている。
---	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
(2)改革改善案について※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①今年度中にトイレ清掃委託仕様書の内容を検討し、平成26年度予算に盛り込む。 ②貸し出し期間の検討を平成25年度中に行なう。																								
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①特になし																								